
岐阜県立岐阜高等学校

校 長 石田 達也
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月6日(月) 13:00~15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校 会議室
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|--------|---------------|------|
| 会 長 | 西津 貴久 | 岐阜大学 教授 | (欠席) |
| 副会長 | 安田 洋一郎 | 本郷自治会副会長 | |
| 委 員 | 伊在井みどり | 安江病院 院長 | |
| | 高木 敏彦 | 岐阜県教育文化財団 理事長 | |
| | 中村こず枝 | 岐阜市健康部長兼保健所長 | |
| | 萩野 順子 | 本校PTA会員 | |
| 学校側 | 石田 達也 | 校長 | |
| | 寺倉 新一 | 事務部長 | |
| | 森 敦士 | 教頭 | |
| | 渡部 彰規 | 教頭 | |
| | 杉山 秀謙 | 教務部長 | |
| | 籠橋 美和子 | 生徒指導部長 | |
| | 黒井 昌和 | 進路指導部長 | |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 今年度の取組状況(教務・進路指導・生徒指導)
- (2) 生徒との懇談会(3年次生と協議会委員との懇談)
- (3) 委員からの意見・提言

○今年度の取組について(教務・進路指導・生徒指導)

意見1: 保護者から見ても、情報モラルに関しては心配なできごとが多く、問題を防ぐために子どもにきちんと伝えなければならないと思うが、なかなか難しいこともある。学校で、今後もしっかり指導を行っていただきたい。

⇒相手の立場に立つことができない生徒がいる。心理テストでも本校生徒の倫理・規範意識が低いとの結果も出ている。規範意識の重要性については訴え続けていきたい。

意見2: 「心のアンケート」の回答内容について、コロナ前と後とで比較はしたか。

⇒「心のアンケート」はコロナ禍に入ってから始まったものである。アンケート後、回答内容によっては担任が生徒と懇談している。

意見3: 進路指導部の取組で、模試の偏差値50以下の生徒に対する指導を行っているとのことだが、生徒本人にどのように説明して指導しているのか。

⇒模試の後、送られてくる成績資料を担当から生徒に手渡すとともに、三者懇談において保護者も交えて学習方法の見直しを行う。

意見4：情報モラルの問題については、携帯端末の使用の仕方だけが問題なのではない。指導の範囲を明確にし、悪いことは悪いとしっかりと指導していく必要がある。

⇒生徒にとっては自分の取った行為が、全体の中の一部分の行為としての認識が少なく、それが全体でどのような結果につながるかということがなかなか想像できない者もいる。もちろん、やってはいけないことはやってはいけないと指導していく。

○3年次生と協議会委員との懇談において

(既に進学先が決定している3年次生4人に、進学先、岐阜高校での3年間の取組、将来の抱負等についてそれぞれ話してもらい、その後質疑応答を行った。)

意見5：産業医を志した理由は何か。

⇒産業医は臨床医と違って、病気になる前に治療するという側面がある。病気になる前に人を救いたいと思ったので産業医を志した。

意見6：防衛大を目指そうと思ったきっかけは何か。

⇒日本人として国際貢献したいという思いが強かったので志望した。

意見7：4人それぞれに広い視野をもって勉強してほしいし、国際的な視点はもちろんだが、地元の地域にも目を向けて活躍してほしい。

意見8：受験期に保護者に相談してよかったことや、保護者が見せてくれた姿勢でよかったものは何か。

⇒進学先を勧めてくれたり、将来の方向性をしめしてくれたりした。また、将来何がしたいのか繰り返し聞いてくれることで、自分の意志を固めることができた。その一方で、お弁当をつくってくれたり、勉強している間起きてくれていたりして、心の面を支えてくれたのは有難かった。

○その他の意見・提言

意見9：岐阜高校の生徒は皆、あの4人のように立派な話ができるのか。

⇒4人は特に素晴らしい話をしてくれた。自分の中にアピールするもの、自信があるのだろうし、自分のことを言葉に表すのが得意な生徒たちである。

意見10：4人は高校で既にしっかりと進路を決めているが、大学で幅が広がるかもしれない。ただ、心の持ち方がしっかりしているのでどこに行ってもやっていけるだろうと感心した。

⇒大学4年間で進路の方向性が変わることは十分にあり得るが、それを許容できる人物であると思う。

意見11：部活動（スポーツ）は盛んか。

⇒運動系も文科系も一生懸命やっている。「岐阜高校は勉強だけ。」と言われるのが嫌な生徒が多いようだ。文科系部活動でも積極的に県外の大会に参加している。

意見12：グローバルリーダー養成事業は、生徒一人一人を大切にしている。今後も生徒一人一人に目を配ってほしい。また、「活動の記録」をファイリングすることは、自分の活動を振り返ることができる大変良い手法である。

6 会議のまとめ

・各委員から、忌憚のない多くの意見・質問を得た。また、今回の本校3年次生と委員との懇談は、生徒たちの発言内容も含めて、委員の間でも非常に好評であった。